

製品名: SUMO-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18438**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	12kDa

抗原情報

遺伝子名	SUMO1 SUMO1; SMT3C; SMT3H3; UBL1; OK/SW-cl.43; Small ubiquitin-related modifier 1; SUMO-1;
別名	GAP-modifying protein 1; GMP1; SMT3 homolog 3; Sentrin; Ubiquitin-homology domain protein PIC1; Ubiquitin-like protein SMT3C; Smt3C; Ubiquitin-like protein
遺伝子 ID	7341.0
SwissProt ID	P63165
免疫原	抗血清はヒト Sumo1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

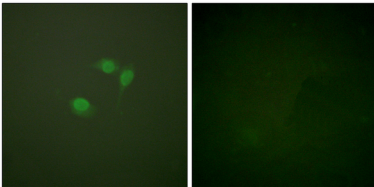
背景

この遺伝子は、SUMO (small ubiquitin-like modifier) タンパク質ファミリーに属するタンパク質をコードします。このタンパク質は、ユビキチンと同様に、翻訳後修飾システムの一部として標的タンパク質に結合することで機能します。しかし、タンパク質を分解の標的とするユビキチンとは異なり、このタンパク質は核輸送、転写調節、アポトーシス、タンパク質安定化など、様々な細胞プロセスに関与しています。カルボキシ末端の最後の4つのアミノ酸が切断されるまでは活性化しません。この遺伝子には、いくつかの擬似遺伝子が報告されています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエーションが同定されています。[RefSeq提供、2008年7月],注意: ここに示す配列は、Ensembl自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考慮する必要があります。機能: 標的リジンにモノマーとして共有結合できるユビキチン様タンパク質。タンパク質分解には関与していないようで、分解プロセスにおいてユビキチンの拮抗薬として機能する可能性がある。核輸送、DNA複製と修復、有糸分裂、シグナル伝達など、多くの細胞プロセスにおいて役割を果たす。RANGAP1を核膜孔複合体タンパク質RANBP2に標的化することに関与する。その基質への共有結合には、E1複合体SAE1-SAE2による事前活性化とE2酵素UBE2Iへの結合が必要であり、PIAS1-4、RANBP2、CBX4などのE3リガーゼによって促進される。オンライン情報: SUMOタンパク質エントリ,PTM: 機能にはSENP1またはSENP2による前駆体の切断が必要である。類似性: ユビキチンファミリーに属します。SUMOサブファミリー。類似性: 1つのユビキチン様ドメインを含む。サブユニット: SAE2、UBE2I、RANBP2、PIAS1、PIAS2と相互作用する。PARK2とも相互作用する。PML、RANGAP1、HIPK2、SP100、p53、p73-alpha、MDM2、JUN、DNMT3B、TDGなど、多くのタンパク質と共有結合する。また、HIF1A、HIPK2、HIPK3、CHD3、EXOSC9、RAD51、RAD52とも相互作用する。、

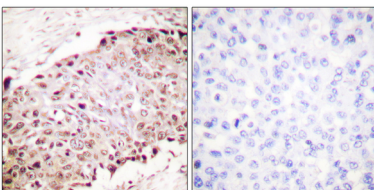
研究分野

細胞生物学

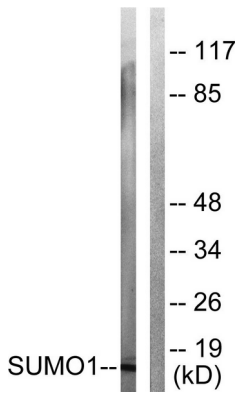
画像データ



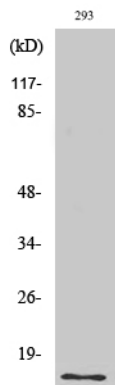
Sumo1抗体を用いたNIH/3T3細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Sumo1抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Sumo1 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



SUMO-1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析